

バラエティーフェスタ報告



千代田バラエティーフェスタが10月28日（日）に楠小学校の運動場と体育館で開催されました。千代田中学校区青少年健全育成会の主催で行われ「つながる会」は「防災体験コーナー」を担当しました。

軽食を提供するお店や小物を販売するお店があったり、子どもから大人まで遊べるコーナーがあったり、大人顔負けの演舞があったりと、まさしくバラエティーに富んだ5時間余のイベントでした。

来年の開催場所は千代田小学校になる予定です。



「楠まちづくり新聞」十八号で募集をかけたシンボルマークが左の様に決定しました。

多数の応募作品の中から「南貴望ヶ丘」のSさんがデザインされたマークが「つながる会」のシンボルマークとして選ばれました。事前に購入したピンク色のベストの背中央にシンボルマークを印刷しました。

マークの色は紺色、緑色、水色の3種類を基本とします。実際の色合いは印刷の都合で少し違って見えます。

シンボルマーク決定



早速12月の防災訓練に「つながる会」の人間が着用して具合等確かめてみました。左が着用した時の写真です。遠くからでもかなり目立つベストになっています。

ハザードマップ作成



ため池決壊危険度予測 農研機構より

東日本大震災などの大地震、九州北部豪雨や平成30年7月豪雨などの豪雨災害で、ため池が決壊し、ため池の下流域で二次被害が発生しています。



南堤防から見た寺ヶ池

「寺ヶ池ため池ハザードマップ」の完成報告と成果の活用について説明会を2月頃に実施する予定です。詳しい日程については「つながる会」より後日お知らせします。

市農林課では、ため池の被災による被害を防止し、軽減しようと考え、平成29年度には寺ヶ池の浸水想定区域（ハザードマップ）を作成しました。平成30年度には府による南側堤体耐震業務が実施され、過去に実施した北側堤体耐震業務の成果と併せて成果を周知させる準備が整いつつあります。

徒に危険をおおるのでなく、「影響下にあることを日頃から認識し備える」ことを目的として説明会を実施します。

編集後記
 まちづくり新聞の第二十号をお届けします
 メール kusunoki.info@gmail.com
<https://ksrd.jp/kusunoki/>